

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	1	
事業名	社会教育諸経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	1
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-2 青少年の健全育成	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の青少年	目的 (対象がどのような状態になっているか)	青少年育成町民会議の活動を通じ、青少年の非行を防止し健全育成を図る。
事業内容	青少年育成町民会議の諸活動を補助する。 主な活動：町内啓発活動、夜間パトロール、町民歩け歩こう大会、子育てのつどい、「青少年の主張」の開催、推進指導員の研修、地区・校区活動			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	推進指導員研修への参加数 (平均)	6	0	3	人	↑	10
	2	育成活動への参加数 (平均)	314	248	734	人	→	250
	3							
	4							
	5							
				令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			4,667		3,830	6,366		
財源内訳	直接事業費 A		3,677		2,840	5,028		
	うち一般財源		3,677		2,840	5,028		
人件費 (千円) B			990		990	1,338		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.15	990	0.15	990	0.2	1320
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	各団体等の自主性を尊重しながら、自主活動組織としての強化を図り、活動内容の充実又は見直しを行っていく。	③取組の課題	時代や生活環境の変化に沿った活動内容の見直しを逐次行う必要があると考える。
②R2年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの主だった行事は中止となったが、今後の組織の在り方を考える時間を持った。	④今後の改善計画	青少年の健全育成を図るため、生活環境や地域のニーズに即した取り組みや地域の特色を活かした取り組みを推進する。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	2	
事業名	成人式経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	1
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-2 青少年の健全育成	係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	当該年度に20歳を迎える町民及び一時転出者等。	目的 (対象がどのような状態になっているか)	成人として社会の仲間入りを自覚する機会を提供し、東員町への郷土愛を高め、若者の定住を促す。
事業内容	新成人で実行委員会を組織し、企画・運営にあっている。 第1部 町長・来賓・恩師の祝辞、新成人誓いのことば 第2部 アトラクション(令和2年度：中止)			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
	1	成人式への出席率	78.3	77.6	75.8	%	↑	85.0	
2									
3									
4									
5									
			令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			2,739		2,613		3,025		
財源内訳	直接事業費 A		543		417		565		
	うち一般財源		543		417		565		
人件費(千円) B			2,196		2,196		2,460		
内訳	一般職員(人・千円)		0.33		2178		0.37		2442
	臨時職員(人・千円)		0.01		18		0.01		18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	新成人実行委員会による企画・運営は、自由な発想と創意工夫が期待できるため、行政として後方支援する。	③取組の課題	新成人実行委員会を主体とする形成を、次世代に受け継がれるような仕組みを考えていく必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、新成人で組織する実行委員会と共に事業を進めた。	④今後の改善計画	前年度踏襲ではなく、新たな企画・運営となるよう指導等を行う。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	3	
事業名	文化振興諸経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	5	2
施策	6-3 文化力の向上	課名	社会教育課		
		係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する事業を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	公民館講座受講者数	218	266	215	人	↑	300	
2									
3									
4									
5									
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			9,102		9,834		9,321		
財源内訳	直接事業費A		6,066		6,798		6,285		
	うち一般財源		5,947		6,762		6,233		
人件費（千円）B			3,036		3,036		3,036		
内訳	一般職員（人・千円）		0.46		3036		0.46		3036
	臨時職員（人・千円）		0		0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
				コストの削減	B削減の余地がややある	
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	マンネリ化を防止し、時代や地域のニーズに即した講座の開設を進める。	③取組の課題	コロナ禍での受講への躊躇を払拭するために必要な対策を講じる必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	QRコードを用いた申込方法を新設したことで、気軽に応募ができる仕組みが構築された。（既存のはがきでの申し込みも継続）	④今後の改善計画	「公民館講座」を受講し易いように回数を減らすなど、新規受講者の懸け橋となるように取り組む。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	4	
事業名	総合文化センター維持管理経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	5	2
施策	6-1 生涯学習の推進	課名	社会教育課		
		係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	町民が安心して施設を利用でき、また、利用者のニーズに応じた運用を検討するなどして施設の有効活用を図る。
事業内容	文化会館における各種活動発表、中央公民館での作品展示会やクラブ・サークル活動等その他公共的な利用のために施設を提供し、総合文化センターの維持管理を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
1	事業の性質上、指標設定は馴染みません。							
2								
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			48,760	37,666	42,799			
財源内訳	直接事業費A		45,826	34,732	39,931			
	うち一般財源		42,478	17,395	36,725			
人件費（千円）B			2,934	2,934	2,868			
内訳	一般職員（人・千円）		0.39	2574	0.39	2574	0.38	2508
	臨時職員（人・千円）		0.20	360	0.20	360	0.20	360

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
				コストの削減	B削減の余地がややある	
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の進展状況によっては、長期保全計画の見直しを適宜行う必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 長期保全計画の進捗・管理を全庁で足並みを揃えた。 総合文化センターエレベーター設備改修工事を行った。 	④今後の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	5
事業名	文化事業イベント経費	
会計	一般	
款	10	
項	5	
目		2
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの参加型の文化事業を開催することで、町民にさまざまな文化に触れる機会を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	文化イベント入場者数 (平均人数) 年間入場者数/イベント数	560	563	1004	人	↑	600	
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			23,377		16,555		29,390		
財源内訳	直接事業費 A		20,791		13,969		26,342		
	うち一般財源		16,725		11,821		22,422		
人件費 (千円) B			2,586		2,586		3,048		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.31	2046	0.31	2046	0.38	2508	
	臨時職員 (人・千円)		0.30	540	0.30	540	0.30	540	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	3大文化事業のチケット収入増に努める。	③取組の課題	文化事業や古典芸能への関心が低いことから、幅広い層への情報発信等を継続的に講じる必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	「こども歌舞伎公演」・「日本の第九演奏会」は中止、「ミュージカル公演」・「音楽祭」を感染症対策を講じて行ったがチケット収入は減額となった。	④今後の改善計画	町の伝統文化や古典芸術等の魅力を幅広い年齢層に情報発信し、身近に触れあえる機会を提供する。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	6
事業名	公民館諸事業経費	
会計	款	項 目
一般	10	5 3
政策	6 人生を豊かにするために	
課名	社会教育課	
施策	6-1 生涯学習の推進	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	中央公民館での作品展示やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	公民館施設利用者数	30,217	26,678	20,161	人	→	26,000
2								
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			6,535		6,257		6,965	
財源内訳	直接事業費A		3,553		3,275		3,719	
	うち一般財源		3,553		3,275		3,719	
人件費（千円）B			2,982		2,982		3,246	
内訳	一般職員（人・千円）		0.37 2442		0.37 2442		0.41 2706	
	臨時職員（人・千円）		0.30 540		0.30 540		0.30 540	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	B 対象が狭すぎる
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	夜間の施設利用が増えるように、魅力ある公民館講座等の開設に努める。	③取組の課題	利用者数の伸び悩みが顕著である。
②R2年度に実施した取り組み	公民館講座の委託先である（一社）東員町文化協会に協力を仰ぎ、受講終了後のサークル活動への案内を行った。	④今後の改善計画	公民館講座を修了した受講者が、継続して活動できるようクラブやサークル団体に協力要請し、学習機会の提供を図る。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	7
事業名	笹尾コミュニティーセンター経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	5	3
施策	6-1 生涯学習の推進	課名	社会教育課		
		係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
	1	施設利用者数	21,154	18,901	13,400	人	↑	21,000	
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			12,402		20,627		37,538		
財源内訳	直接事業費A		7,170		15,395		32,306		
	うち一般財源		5,201		4,800		6,200		
人件費（千円）B			5,232		5,232		5,232		
内訳	一般職員（人・千円）		0.25	1650	0.25	1,650	0.25	1,650	
	臨時職員（人・千円）		1.99	3582	1.99	3,582	1.99	3,582	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	個別計画の早期完了に取り組む。	③取組の課題	施設の老朽化の進展状況によっては、長期保全計画の見直しを適宜行う必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	個別施設計画を作成した。安全安心な施設利用を図るため、施設改修として屋上等防水工事を行った。	④今後の改善計画	長期保全計画等に基づき、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。

事務事業No.	17-	8
事業名	図書館経費	
会計	款	項
一般	10	5
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（図書館利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	図書館を中心として町民が様々な学習のできる場を提供する。
事業内容	必要な資料（図書、雑誌、AV資料等）の収集、整理、保存を行うことを基軸として、閲覧サービス、貸出・予約サービス、リクエストサービス、他館との資料相互貸借を行うほか、レファレンスサービス（調べ物のお手伝い）、複写サービス等を行う。不用図書等については年1回「リサイクル会」を開催し有効活用を図っている。 また、子ども読書活動を推進するため毎月2回（第2・第4土曜日）ボランティア団体による「読み聞かせ会」を開催している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）	
1	町民の利用登録率	86.0	86.5	87.5	%	↑	86.6	
2	町民1人あたりの貸出冊数	7.0	6.9	6.0	冊	↑	7.0	
3	蔵書回転率	1.7	1.7	1.4	回	→	1.7	
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			29,373		29,342		30,445	
財源内訳	直接事業費A		10,227		10,196		11,299	
	うち一般財源		10,152		10,140		11,243	
人件費（千円）B			19,146		19,146		19,146	
内訳	一般職員（人・千円）		1.81 11946		1.81 11,946		1.81 11,946	
	臨時職員（人・千円）		4.00 7200		4.00 7,200		4.00 7,200	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	図書、雑誌等の見直しや貸出冊数の増加を図るとともに、既存利用登録者を維持しつつ、新規利用者の増加を図るなど、魅力ある図書館の充実に努めます。	③取組の課題	町民1人あたりの貸出冊数の減少傾向の要因の一つとして、16歳から21歳までの年齢層の利用が減少した。より一層のPR活動や図書サービスの充実が必要と考える。
②R2年度に実施した取り組み	・読書活動を振興するため、学校教育課の「読書登山」との連携を図った。 ・ボランティア団体による「読み聞かせ会」は、令和3年1月から再開した。	④今後の改善計画	16歳から21歳までの年齢層を重点に置き、読書習慣や自ら学ぼうとする意欲向上を図るとともに、幅広い年齢層が利用し易い環境整備を行う。

事務事業No.	17-	9	
会計	款	項	目
一般	10	5	5
課名	社会教育課		
係名	生涯学習係		

事業名	文化財保護経費		
政策	6 人生を豊かにするために		
施策	6-3 文化力の向上		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	重要な文化財の保存と活用を図り、今後の世代へ継承する。
事業内容	町内の文化財の調査・指定及び保護を行うとともに、町内の文化財保護団体に対して補助金の交付を行うことによって存続と継承を支援する。郷土資料館において町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)
	1	指定文化財の点数	8	8	8	点	↑
2	郷土資料館への入館者数	13	89	142	人	↑	100
3							
4							
5							
			令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B		3,004		2,566	3,870		
財源内訳	直接事業費 A		1,684		1,246	2,352	
	うち一般財源		1,684		1,246	2,352	
人件費(千円) B		1,320		1,320	1,518		
内訳	一般職員(人・千円)		0.20	1320	0.20	1320	0.23 1,518
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> トウインヤエヤマザクラや観音もみじなど、町の貴重な財産を後世に残すため、適正な生育管理に取り組む。 郷土資料館の展示方法等を工夫し、一層魅力ある資料館に取り組む。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 近年の気象状況を鑑み、トウインヤエヤマザクラや観音もみじなどの後継木の育成を図る必要がある。(苗木の植え付け) 郷土資料館の認知度を高めるため、幅広く情報発信し、入場者数の増加を図る必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 樹木医に保護作業を委託し、取り木、挿し木や種子の採取・種まきによる後継木育成の試みに取り組んだ。 郷土資料館では、展示物について説明する案内人ボランティアを組織した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 町天然記念物を後世に伝え、残すため、後継木の適正な生育管理に取り組む。 郷土資料館は、展示品の使い方を体験できる方法を研究し、魅力ある資料館を目指す。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	10	
事業名	体育振興経費	会計 一般	款 10	項 6	目 2
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-4 スポーツの振興	係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民にスポーツの場を提供し、またスポーツを通じた地域のコミュニケーションの輪を広げ、住民にとっての明るく健康的なまちづくりを行う。
事業内容	誰もが気軽に参加できる、地域住民による自主的・主体的なスポーツ行事の企画・運営 (スポーツ教室及び対抗戦等スポーツイベントの開催、広報活動による啓発・周知、指導者の確保・育成) の基盤づくりを支援する。また、町民体育祭や駅伝大会の開催について、検証・協議、見直し、参加しやすい、または参加しなくなる大会となるよう努める。また、各施設の保守点検等による修繕を適正に行うよう努める。			

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
		1	総合型地域スポーツクラブ (フレンドリークラブ) 会員数	587			603	484
2	教室参加人数	16,090	16,523	13,176	人	↑	17,000	
3	町民体育祭・駅伝大会参加自治会数	23	23	7	自治体	→	23	
4								
5								
			令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			25,351		24,262		25,165	
財源 内訳	直接事業費 A		22,279		21,190		21,499	
	うち一般財源		20,948		20,209		19,599	
人件費 (千円) B			3,072		3,072		3,666	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.43	2838	0.43	2838	0.52	3432
	臨時職員 (人・千円)		0.13	234	0.13	234	0.13	234

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	自治会対抗種目について、必要性や在り方について検証を行いし、関係機関も踏まえ協議する。	③取組の課題	自治会対抗という仕組みから、誰もが気軽に参加できる新たな仕組づくりを検討する必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	町民体育祭、美し国三重市町対抗駅伝大会は中止となった。	④今後の改善計画	令和3年度から自治会対抗事業が廃止となることから、代替えとして誰もが気軽に参加できる大会をスポーツ協会等と検討する。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	11	
事業名	総合体育館・武道館経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の適切な維持管理と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）		
	1	年間利用者数	78,218	75,397	41,724	人	↑	80,000		
2										
3										
4										
5										
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			8,598		7,964		9,393			
財源内訳	直接事業費A		7,590		6,956		8,253			
	うち一般財源		(1,941)		1,798		3,609			
人件費（千円）B			1,008		1,008		1,140			
内訳	一般職員（人・千円）		0.15		990		0.17		1122	
	臨時職員（人・千円）		0.01		18		0.01		18	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	保守点検後の結果内容を的確に把握し、利用者の安全安心な施設利用を図るため、適切な施設の維持管理に努める	③取組の課題	保守点検による施設の課題把握及び施設利用者増加のための方策を検討する。
②R2年度に実施した取り組み	施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。安全安心な施設利用を図るため、保守点検等を行った。	④今後の改善計画	適正な施設の維持管理に努めながら、施設利用者が安全安心に利用できるよう保守点検を行い、維持管理に努める。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	12	
事業名	陸上競技場経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、施設の計画的整備と利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	年間利用者数	40,260	39,431	19,875	人	→	40,000
2								
3								
4								
5								
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			15,558		6,603		6,731	
財源内訳	直接事業費A		14,550		5,595		5,657	
	うち一般財源		6,725		5,558		5,657	
人件費（千円）B			1,008		1,008		1,074	
内訳	一般職員（人・千円）		0.15	990	0.15	990	0.16	1056
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	陸上競技場とサッカー場との相互の利用についての検討を行う。	③取組の課題	指定管理者による施設改修が行われており、施設利用料改定について検討する。
②R2年度に実施した取り組み	相互利用について指定管理者と情報共有を行った。	④今後の改善計画	陸上競技場の利用及び管理について連携強化を図る。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	13	
事業名	中央球場・テニスコート経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	年間利用者数	5,022	5,060	5,379	人	↑	6,000
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			9,329		7,280		9,593	
財源内訳	直接事業費A		8,387		6,338		9,113	
	うち一般財源		7,450		5,549		8,393	
人件費（千円）B			942		942		480	
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.14	924	0.07	462
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	施設の維持管理を適切に実施する。	③取組の課題	保守点検にみる経年劣化が顕著である。
②R2年度に実施した取り組み	施設の維持管理を適切に実施した。	④今後の改善計画	施設の保守点検を行い維持管理を適切に実施する。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	14	
事業名	城山球場・テニスコート経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	年間利用者数	23,772	27,097	12,742	人	↑	27,500
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			6,830		6,236		7,149	
財源内訳	直接事業費A		5,888		5,294		6,669	
	うち一般財源		3,513		3,513		4,469	
人件費（千円）B			942		942		480	
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.14	924	0.07	462
	臨時職員（人・千円）		0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	利用者が利用しやすい方法を検討する。	③取組の課題	保守点検にみる経年劣化が顕著である。
②R2年度に実施した取り組み	利用者が利用しやすいよう施設の適切な維持管理に努めた。	④今後の改善計画	施設の保守点検を行い維持管理を適切に実施する。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	15	
事業名	長深グラウンド経費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	6	2
施策	6-4 スポーツの振興	課名	社会教育課		
		係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）		
	1	年間利用者数	2,593	2,347	4,079	人	→	2,400		
2										
3										
4										
5										
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			2,480		1,875		2,761			
財源内訳	直接事業費A		1,934		1,329		2,281			
	うち一般財源		1,917		1,327		2,261			
人件費（千円）B			546		546		480			
内訳	一般職員（人・千円）		0.08		528		0.07		462	
	臨時職員（人・千円）		0.01		18		0.01		18	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	利用者が利用しやすい方法を検討する。	③取組の課題	特定の団体が多く利用しており、一般利用ができない傾向がある。
②R2年度に実施した取り組み	特定の団体が多く利用しており、一般利用ができない傾向があるため、その団体と協議を行い、改善策を検討。	④今後の改善計画	特定の団体と協議を行い、他施設での利用を促す。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	16	
事業名	体育施設整備費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課		
施策	6-4 スポーツの振興	係名	スポーツ振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	体育施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	スポーツ振興の拠点となる施設の整備・充実を図る。
事業内容	多くの施設・設備等が老朽化しており、軽微な修繕では対応が難しいものが多い。各施設の利用状況及び財政等も合わせ改修あるいは統廃合など検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			5,474		37,387		231,232		
財源内訳	直接事業費 A		4,598		36,511		228,310		
	うち一般財源		4,598		8,010		19,610		
人件費 (千円) B			876		876		2,922		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.13		858		0.44		2904
	臨時職員 (人・千円)		0.01		18		0.01		18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	施設の廃止を進める必要がある。	③取組の課題	施設の老朽化の進展状況によっては、長期保全計画の見直しを適宜行う必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 笹尾西小学校のナイター設備を老朽化に伴い廃止・撤去した。 ・ 体育館アリーナ照明LED化工事、体育館アリーナ屋根改修の設計を行った。 	④今後の改善計画	長期保全計画等に基づき、適切な施設の維持管理に努める。

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	17	
事業名	文化施設整備費	会計	款	項	目
政策	6 人生を豊かにするために	一般	10	5	1
施策	6-1 生涯学習の推進	課名	社会教育課		
		係名	生涯学習係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	文化振興の拠点となる施設の整備・充実を図る
事業内容	施設の老朽化により、軽微な修繕では対応が難しいものが多くあり、利用状況及び財政等も合わせ改修を検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	1	2	3	4	5	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)		
						事業の性質上、指標設定は馴染みません。								
								令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)				
全体事業費 (千円) A+B								1,144	45,826	44,414				
財源内訳	直接事業費 A								880	45,562	44,150			
	うち一般財源								880	17,562	11,150			
人件費 (千円) B								264	264	264				
内訳	一般職員 (人・千円)								0.04	264	0.04	264	0.04	264
	臨時職員 (人・千円)								0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	長期保全計画に基づき、計画的に改修を行う。	③取組の課題	施設の老朽化の進展状況によっては、長期保全計画の見直しを適宜行う必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	総合文化センターエレベーター改修工事、図書館照明LED化改修工事を行った。	④今後の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、施設利用者が安全安心に利用できるよう適切な施設の維持管理に努める。